

RESONA FUND EVALUATION REPORT

りそなファンド評価レポート

2025年6月

トップメッセージ お客様本位の資産運用を目指して ―設立10周年の節目に寄せて

平素より格別のご高配を賜り改めて厚く御礼申し上げます。

りそなアセットマネジメントは今年8月に設立10周年を迎えます。当社は、投資信託の提供を開始してからまだ10年の成長途上の会社ではありますが、りそな銀行の信託財産運用部門としての60年以上の歴史と、その長きに亘る年金運用の中で培った知見をしっかりと受け継ぎ、「将来世代に対しても豊かさ、幸せを提供」というパーパスのもと、より広くお客様の資産形成や資産活用のお役に立てるよう日々の運用を行っています。

それを実現していくための根幹となるのが、フィデューシャリー・デューティーの考え方です。当社では、信託銀行を源流とする資産運用会社として、お客様本位の業務運営の実践を持続的に進めてきました。その一環として、プロダクトガバナンスの実現に向けた取り組みも積極的に続けてきました。

2021年4月には社外取締役のみで構成される「ファンドガバナンス会議」を設置し、ファンドの設定や運用がお客様の最善の利益のために行われ

ているかについて定期的に第三者による検証を行っています。また、2024年6月には「りそなファンド評価レポート」を公表、さらに2025年3月には、お客様本位の業務運営に向けた取り組みがプロダクトガバナンスの観点からより一層充実したものとなるよう、「プロダクトガバナンスに関する取組方針」を制定し公表しました。

「りそなファンド評価レポート」は昨年続き今回で2回目の公表となります。本レポートでは、当社のプロダクトガバナンスの考え方や体制に加え、当社が設定・運用する個々の公募投資信託が、中長期的に良質な運用を提供できているか、また、お客様にご負担いただくコストに見合った価値を提供できているかという観点から評価した結果をご報告いたします。

設立10周年という節目を迎え、当社は今後もお客様の真のニーズにお応えし、安心して資産運用をお任せいただけるよう、プロダクトガバナンスにかかる不断の取り組みを通じて資産運用の品質維持・向上に努めてまいります。



2025年6月
代表取締役社長 西山 明宏

RESONA FUND EVALUATION REPORT

目 次

トップメッセージ	1
目次	2
プロダクトガバナンスの考え方	3
プロダクトガバナンスの体制	4
ファンド評価について	5
ファンド評価結果(2025年3月末基準) ～全体総括～	7
～アクティブ運用～	8
～バランス運用～	9
～インデックス運用～	17
当レポートで使用する指数の著作権等について	23
当レポートについて	24

当社のパーパスは「将来世代に対しても豊かさ、幸せを提供」することです。このパーパスを実現するためには、当社の商品がお客さまの最善の利益に資することが不可欠です。

当社は、お客さまの利益を最優先する業務運営の一環としてプロダクトガバナンスが非常に重要であると認識しています。

プロダクトガバナンスとは、“真にお客さまのニーズを踏まえた中長期に安定的なリターンを確保できる商品が組成、提供できているか”、“組成時に想定した運用が実践され、お客さまへコストに見合うリターンを提供できているか”、“組成時に想定した運用を継続していくことが可能か”等の観点から、個別商品ごとに品質管理を行うことを言います。

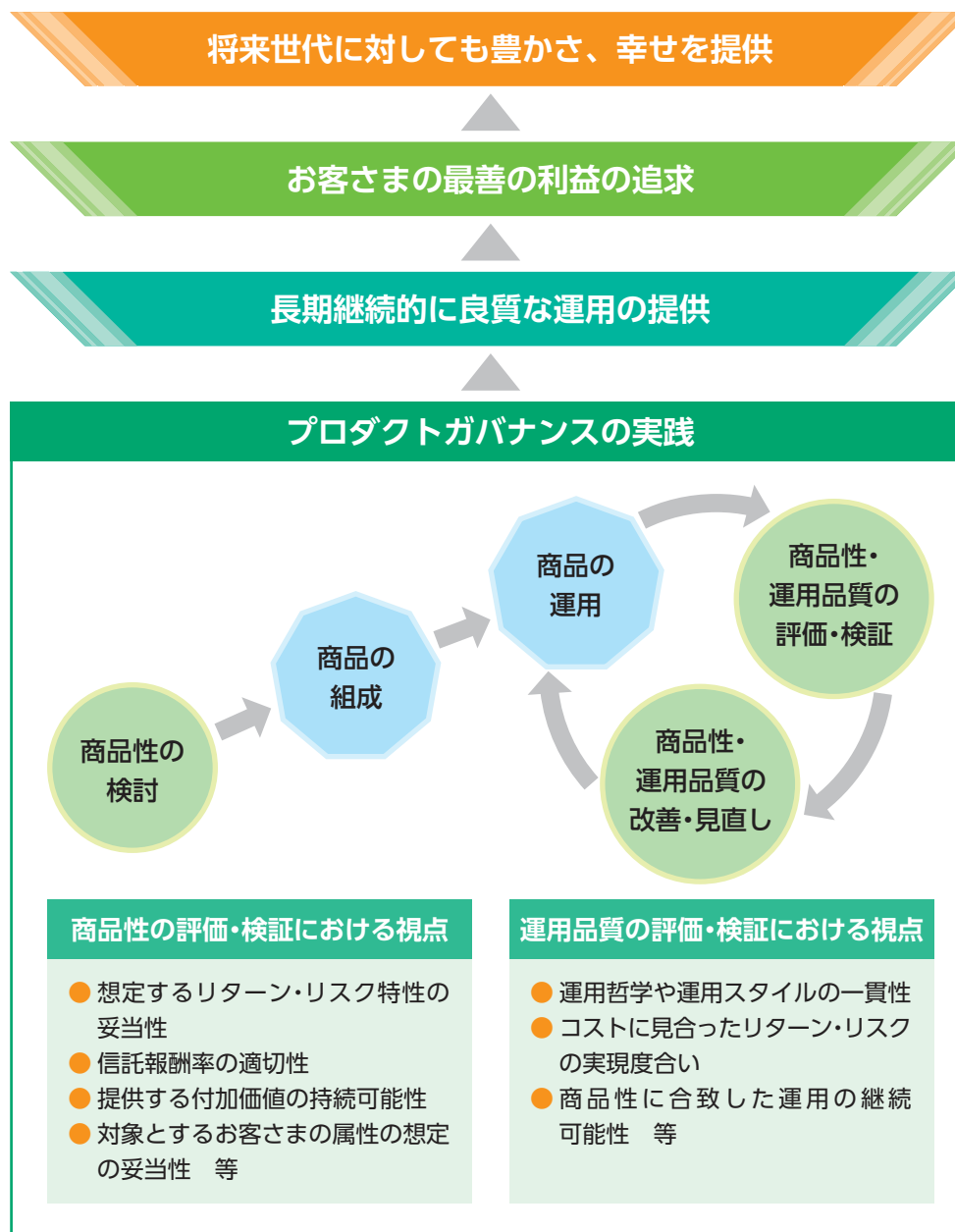
プロダクトガバナンスにおいては、商品組成時における個別商品の適切性の検証に留まらず、商品組成後においても、運用品質が維持されていることを継続的に検証することが重要です。これらのガバナンスを適切に働かせることにより、アクティブ運用、バランス運用、インデックス運用のそれぞれにおいて当社の商品を長期継続的に提供することができると考えています。

評価・検証の結果、お客さまに対して想定した価値が提供できていないと判断した場合、運用手法の改善や運用体制の見直し等の取り組みを通じて運用品質・商品性の改善を図り、それを組織的にフォローアップすることにより、長期継続的に良質な運用の提供を目指すことがお客さまの最善の利益に資するものであると信じています。

上記の考え方をより明確にお客さまにお伝えするために、2025年3月に「プロダクトガバナンスに関する取組方針」を制定し、公表しました。

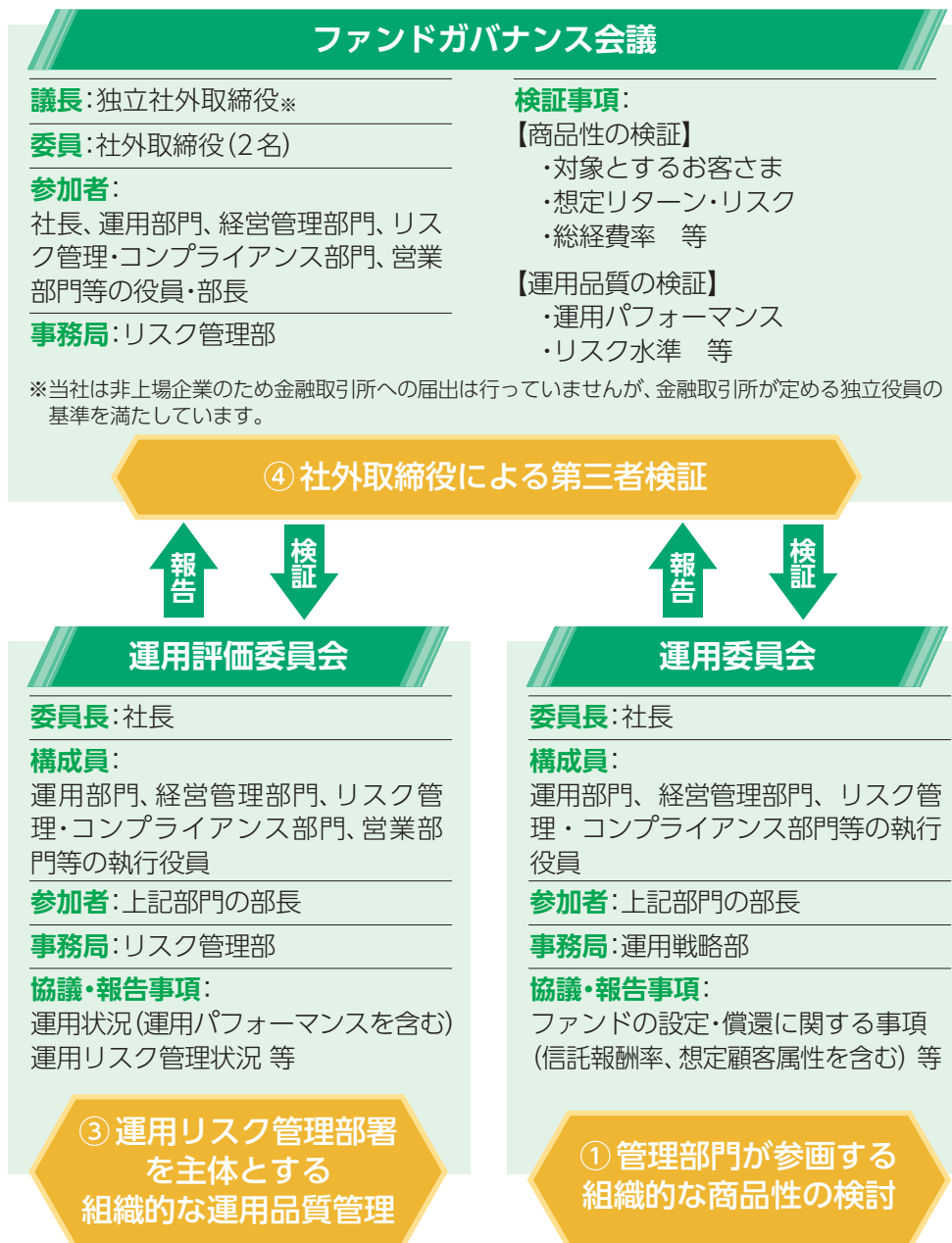
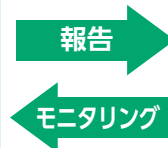
「プロダクトガバナンスに関する取組方針」については以下のURLをご覧ください。

https://www.resona-am.co.jp/about/product_governance.html



プロダクトガバナンスの活動はあくまでもお客さま本位で行われることが重要であると考えています。そのため、商品所管部署や運用担当部署による自律的な管理に加え、管理部門が検証や評価を行い、さらに社外取締役による第三者検証が行われる体制としています。

- 商品組成時においては、商品所管部署が主催する「運用委員会」にリスク管理・コンプライアンス部門が参加し、商品の適切性に係る協議・検討を行います(①)。
- 商品組成後は、各運用担当部署による自律的な運用品質管理(②)に加え、運用リスク管理部署がモニタリングを行い、「運用評価委員会」にて組織的に共有するとともに必要なフォローアップを行います(③)。
- 社外取締役のみで構成される「ファンドガバナンス会議」にて、「商品性」と「運用品質」について第三者検証を受けています(④)。



当社が提供する商品がお客さまの最善の利益に適うものとなっているかの観点から、ファンド評価を実施しています。

評価対象ファンド

- ・当社が設定・運用する公募投資信託を対象にファンド評価を実施しています。
- ・当社は、お客さまに対して中長期での価値提供を目指していることから、基準日（毎年3月末）時点で運用開始から5年以上経過しているファンドを評価対象とします。

※ 本レポートでは2025年3月末を基準日として評価しています。評価対象となる公募投資信託は27ファンドです。

今後、毎年3月末を基準日とし、運用期間が5年を経過したものから順次評価対象に加えていきます。

※ ファンドラップ専用ファンドのように、お客さまが個別に指定して購入・売却を行わない投資信託については評価対象から除いています。

※ 「リソな つみたてグローバル株式アクティブファンド」(2019年8月設定)は運用から5年以上が経過していますが、2022年8月に購入時手数料の廃止と信託報酬率の引き下げを行っており、これは「運用品質」および「商品性」に大きな影響を与える変更であると判断したため、評価対象から除いています。当ファンドについては2022年8月から5年経過後に評価対象とする予定です。

評価項目

- ・お客さまにとっての重要性や他社類似ファンドとの比較可能性等を踏まえ、「運用品質」として運用パフォーマンスを、「商品性」として総経費率^(注)を評価項目としています。
- ・ファンド評価を実施することがさらにお客さまの最善の利益に資するものとなるよう、評価項目の継続的な見直しを行っていきます。

(注) 総経費率:

運用管理費用である「信託報酬」と「その他費用」によって構成され、ファンドの運用にかかるコストの大きさを図る指標です。具体的には、期中の運用・管理にかかった費用の額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率によって求められます。

評価の実施方法

- ・評価は、運用担当部署から独立した運用リスク管理部署が行っています。
- ・「運用品質」と「商品性」のそれぞれについて、各評価項目の評価結果に基づき3段階で評価します(評価方法の詳細は6ページをご覧ください)。

G(グリーン)

想定した価値が提供できている。

Y(イエロー)

課題発生兆候が認められるなど、詳細なモニタリングを要する。

R(レッド)

課題が認められ改善に向けた取り組みを要する。

評価後の対応

- ・評価結果は社内の「運用評価委員会」に報告された上で、「ファンドガバナンス会議」にて社外第三者の目線で検証を受けます。
- ・お客さまに対して想定した価値が提供できていないと評価されたファンドについては、運用手法の改善や運用体制の見直し等の取り組みを通じて運用品質・商品性の改善を図り、それを組織的にフォローアップします。
- ・評価結果および改善に向けた取り組み状況については定期的にお客さまに開示します。

運用品質

運用品質の検証における主な項目のうち、お客さまにとって最も重要と考えられる運用パフォーマンスを評価対象としています。過去3年、5年の運用実績を評価します。なお、当社は長期継続的に良質な運用の提供を目指していることから、5年の運用実績をより重視します。

※ 当社においては運用期間が10年を超える公募投資信託が存在しないため、評価期間は3年、5年としています。将来的にはより長期の目線で10年の評価を追加する予定です。

① 商品組成時の想定目標に対する評価

コスト（総経費）控除後のリターンについて、以下の観点で評価します。

アクティブ運用 評価基準として設定した指標（参考指数等）を上回っているか

バランス運用 設定した目標リターンを上回っているか

② 他社類似ファンドとの相対比較による評価

株式会社野村総合研究所のFundmarkのデータに基づき、他社類似ファンドとの相対比較を行います。

アクティブ運用 シャープレシオ^(注1)の類似ファンド内相対順位

バランス運用 シャープレシオ^(注1)の類似ファンド内相対順位

インデックス運用 実績トラッキングエラー^(注2)の類似ファンド内相対順位

(注1) シャープレシオ：

リターン（ファンドリターン－無リスク資産のリターン）をリスク（標準偏差）で割った値として求められ、リスクに見合ったリターンを獲得できているかという投資の効率性を計る指標として広く用いられています。

(注2) 実績トラッキングエラー：

ベンチマークに対するファンドの超過リターンのばらつきを標準偏差で表したもので、ベンチマークに対する連動性を計る指標として広く用いられています。

※ インデックス運用においては、ベンチマークに対する連動性を見る指標として実績トラッキングエラーに着目していますが、その水準自体の妥当性を評価することは難しいため、②のみ評価します。なお、他社類似ファンドの実績トラッキングエラーのデータが取得できない一部ファンドについてはシャープレシオを用います。

※ バランス運用ファンドのうち、商品特性を考慮して目標とするリターンを定めていないファンド（運用経過年数に応じて目標とするリスクやリターンが変化するターゲット・イヤー・ファンド等）についても、②のみ評価します。

商品性

商品性の検証における主な項目のうち、お客さまにとって重要と考えられる総経費率を評価対象としています。

① 商品組成時の想定目標に対する評価

お客さまに負担いただくコストに見合ったリターンが提供できているかという観点から、■ 運用品質の「① 商品組成時の想定目標に対する評価」に基づいて評価します。コスト（総経費）控除後のリターンが商品組成時に想定した評価基準を中長期的に満たしている場合、総経費率の水準は妥当であると評価します。

② 他社類似ファンドとの相対比較による評価

株式会社野村総合研究所のFundmarkのデータに基づき、他社類似ファンドとの相対比較を行います。

アクティブ運用 総経費率の類似ファンド内相対順位

バランス運用 総経費率の類似ファンド内相対順位

インデックス運用 総経費率の類似ファンド内中央値からの乖離度合い

※ インデックス運用においては、各運用会社がベンチマークへの連動を目指すことから均質な運用が想定され、結果として総経費率も一定の範囲に収束する傾向が見られます。そのため、インデックス運用における総経費率の評価においては、類似ファンド内中央値から上下に一定水準を超えて乖離していないかを評価します。

Column 資産形成や資産活用を支えるシンプルで分かりやすい商品の組成・提供

当社は、分かりやすくシンプルな商品性や合理的で適切な信託報酬率を前提に、長期分散投資を効率的に実現できる商品を厳選して組成するよう努めています。

そのような商品については、その仕様・機能^(※)をご理解いただけるお客さまに幅広くご提供できると考えております。

なお、2025年3月時点では該当する商品はありませんが、複雑性や特殊性が高い商品を組成する場合には、対象とするお客さまの属性や販売方法等についてより詳細かつ慎重に特定するとともに、販売会社との情報連携を適切に行うよう努めます。

当社が組成する商品の内容については、重要情報シートや目論見書、ホームページ等を通じ、できる限り具体的に分かりやすく情報提供してまいります。

(※) 投資対象、想定リターン・リスク、市場の大きな変動によって発生する損失（ドローダウン）、分配金、お客さまが負担するコスト等

全体総括

- ・当社が設定・運用する公募投資信託のうち、2025年3月末時点で運用期間5年超の27ファンドについて評価を行いました。

ファンドタイプ／評価結果別ファンド数

ファンドタイプ	運用品質			商品性		
	G	Y	R	G	Y	R
アクティブ運用	1	0	0	1	0	0
バランス運用	15	0	0	15	0	0
インデックス運用	11	0	0	11	0	0

G(グリーン)

想定した価値が提供できている。

Y(イエロー)

課題発生の兆候が認められるなど、詳細なモニタリングを要する。

R(レッド)

課題が認められ改善に向けた取り組みを要する。

運用品質(運用パフォーマンス)

アクティブ運用およびバランス運用

- ・“想定した運用が実践できているか”、“他社類似ファンドと比較して優位性はあるか”の両面から総合評価を行いました。
- ・想定した目標を下回る状況にあるファンドも見られますが、他社類似ファンドとの相対比較を考慮した結果として、対象となる16ファンドすべてについて「G:想定した価値が提供できている」と評価しました。

インデックス運用

- ・他社類似ファンドとの相対比較に基づいて評価を行い、対象となる11ファンドすべてについて「G:想定した価値が提供できている」と評価しました。

商品性(総経費率)

- ・アクティブ運用およびバランス運用については、“コストに見合ったリターンが提供できているか”、“他社類似ファンドと比較して優位性はあるか”の両面から総合評価を行いました。
- ・インデックス運用については、他社類似ファンドとの相対比較に基づいて評価を行いました。
- ・結果、対象となる27ファンドすべてについて「G:想定した価値が提供できている」と評価しました。

アクティブ運用

評価結果概要

- ・運用期間5年超のアクティブ運用の公募投資信託について評価を行いました。対象は1ファンドです。
- ・運用品質、商品性のいずれにおいても改善や見直しを要する点は認められず、想定した価値が提供できているものと評価しています。

ファンド名	運用品質	商品性
りそな日本中小型株式ファンド[愛称:ニホンノミライ]	G	G

りそな日本中小型株式ファンド [愛称:ニホンノミライ]

国内の中小型株式を対象に、社会の構造変化に伴い生じる「社会的な課題」の解決にビジネスの観点から取り組み、持続的かつ安定的に成長することが期待できる銘柄を厳選して投資を行い、中長期的に信託財産の積極的な成長を目指します。

投資リスクや費用等、詳細については当社ホームページに掲載しています。以下のURLより交付目論見書等をご覧ください。

<https://www.resona-am.co.jp/fund/120009/>

1 運用品質(運用パフォーマンス)

目標に 対する評価	3年	5年	他社 相対評価	3年	5年
	下回る	上回る		中位	上位

評価
G

過去3年では参考指数であるRussell/Nomura Small Capインデックスのリターンを下回っているものの過去5年では上回っており、他社相対評価においては過去3年で中位、5年で上位にあることから、商品組成時に想定した価値が提供できているものと評価しています。

引き続き運用品質が維持されていることを確認してまいります。

2 商品性(総経費率)

他社 相対評価	下位 (相対的に高い)	当ファンド	中央値
		1.98%	1.76%

評価
G

他社相対評価においては高い水準(下位)にありますが、コスト(総経費)控除後で想定した運用パフォーマンスを実現できており、妥当な水準であると評価しています。

バランス運用

評価結果概要

- ・運用期間5年超のバランス運用の公募投資信託について評価を行いました。対象は15ファンドです。なお、商品特性を考慮して目標とするリターンを定めていないファンドでは、運用パフォーマンス、総経費率ともに、他社類似ファンドとの相対比較に基づいて評価しました。
- ・運用品質、商品性のいずれにおいても改善や見直しを要する点は認められず、想定した価値が提供できているものと評価しています。

ファンド名	運用品質	商品性
りそな ラップ型ファンド(安定型) [愛称:R246(安定型)]	G	G
りそな ラップ型ファンド(安定成長型) [愛称:R246(安定成長型)]	G	G
りそな ラップ型ファンド(成長型) [愛称:R246(成長型)]	G	G
DCりそなグローバルバランス	G	G
Smart-i 8 資産バランス 安定型	G	G
Smart-i 8 資産バランス 安定成長型	G	G
Smart-i 8 資産バランス 成長型	G	G
りそなターゲット・イヤー・ファンド 2030	G	G
りそなターゲット・イヤー・ファンド 2035	G	G
りそなターゲット・イヤー・ファンド 2040	G	G
りそなターゲット・イヤー・ファンド 2045	G	G
りそなターゲット・イヤー・ファンド 2050	G	G
りそなターゲット・イヤー・ファンド 2055	G	G
りそなターゲット・イヤー・ファンド 2060	G	G
つみたてバランスファンド	G	G

りそなラップ型ファンド(安定型) [愛称:R246(安定型)]

世界各国の債券、株式およびリートなどに分散投資を行います。5年から10年程度の中長期的な期間を想定し短期金利+2%のリターンを目標とすることにより、信託財産の中長期的な安定性を重視した成長を目指します。

投資リスクや費用等、詳細については当社ホームページに掲載しています。以下のURLより交付目論見書等をご覧ください。

<https://www.resona-am.co.jp/fund/120001/>

1 運用品質(運用パフォーマンス)

目標に 対する評価	3年	5年	他社 相対評価	3年	5年
	下回る	下回る		中位	中位

評価
G

過去3年、5年で目標リターンを下回っていますが、他社相対評価においては3年、5年ともに中位にあることから、総合的に見て商品組成時に想定した価値が提供できているものと評価しています。

引き続き運用品質が維持されていることを確認してまいります。

2 商品性(総経費率)

他社 相対評価	上位 (相対的に低い)	当ファンド	中央値
		0.69%	1.10%

評価
G

コスト(総経費)控除後で目標リターンを実現できていませんが、運用パフォーマンスが他社相対評価で中位にあること、総経費率の他社相対評価において低い水準(上位)であることから、総合的に見て妥当な水準であると評価しています。

りそなラップ型ファンド(安定成長型) [愛称:R246(安定成長型)]

世界各国の債券、株式およびリートなどに分散投資を行います。5年から10年程度の中長期的な期間を想定し短期金利+4%のリターンを目標とすることにより、信託財産の中長期的な安定性と成長性のバランスを重視した成長を目指します。

投資リスクや費用等、詳細については当社ホームページに掲載しています。以下のURLより交付目論見書等をご覧ください。

<https://www.resona-am.co.jp/fund/120002/>

りそなラップ型ファンド(成長型) [愛称:R246(成長型)]

世界各国の債券、株式およびリートなどに分散投資を行います。5年から10年程度の中長期的な期間を想定し短期金利+6%のリターンを目標とすることにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。

投資リスクや費用等、詳細については当社ホームページに掲載しています。以下のURLより交付目論見書等をご覧ください。

<https://www.resona-am.co.jp/fund/120003/>

1 運用品質(運用パフォーマンス)

目標に 対する評価	3年 上回る	5年 上回る	他社 相対評価	3年 上位	5年 上位
--------------	-----------	-----------	------------	----------	----------

評価
G

過去3年、5年ともに目標リターンを上回っており、他社相対評価においても3年、5年ともに上位にあることから、商品組成時に想定した価値が提供できているものと評価しています。

引き続き運用品質が維持されていることを確認してまいります。

2 商品性(総経費率)

他社 相対評価	上位 (相対的に低い)	当ファンド	中央値
------------	----------------	-------	-----

1.13%

1.35%

評価
G

コスト(総経費)控除後で目標とするリターンを達成しており、妥当な水準であると評価しています。

なお、総経費率の他社相対評価でも低い水準(上位)に位置しています。

1 運用品質(運用パフォーマンス)

目標に 対する評価	3年 上回る	5年 上回る	他社 相対評価	3年 上位	5年 上位
--------------	-----------	-----------	------------	----------	----------

評価
G

過去3年、5年ともに目標リターンを上回っており、他社相対評価においても3年、5年ともに上位にあることから、商品組成時に想定した価値が提供できているものと評価しています。

引き続き運用品質が維持されていることを確認してまいります。

2 商品性(総経費率)

他社 相対評価	中位	当ファンド	中央値
------------	----	-------	-----

1.25%

1.45%

評価
G

コスト(総経費)控除後で目標とするリターンを達成しており、妥当な水準であると評価しています。

なお、総経費率の他社相対評価では中位の水準です。

DCリそな グローバルバランス

世界各国の債券、株式およびリートなどに分散投資を行い、信託財産の中長期的な安定性を重視した成長を目指します。

投資リスクや費用等、詳細については当社ホームページに掲載しています。以下のURLより交付目論見書等をご覧ください。

<https://www.resona-am.co.jp/fund/120004/>

1 運用品質(運用パフォーマンス)

目標に 対する評価	(目標リターンを 設けておらず、評価対象外)	他社 相対評価	3年 中位	5年 中位
--------------	---------------------------	------------	----------	----------

評価

G

他社相対評価において過去3年、5年ともに中位にあることから、商品組成時に想定した価値が提供できているものと評価しています。
引き続き運用品質が維持されていることを確認してまいります。

2 商品性(総経費率)

他社 相対評価	上位 (相対的に低い)	当ファンド	中央値
------------	----------------	-------	-----

0.68%

1.38%

評価

G

総経費率の他社相対評価において低い水準(上位)であることから、妥当であると評価しています。

Smart-i 8資産バランス 安定型

世界各国の債券、株式およびリートなどに分散して投資する中で、債券への投資割合を高め、資産の安定性を重視した運用を行います。

投資リスクや費用等、詳細については当社ホームページに掲載しています。以下のURLより交付目論見書等をご覧ください。

<https://www.resona-am.co.jp/fund/123010/>

1 運用品質(運用パフォーマンス)

目標に 対する評価	(目標リターンを 設けておらず、評価対象外)	他社 相対評価	3年 上位	5年 上位
--------------	---------------------------	------------	----------	----------

評価

G

他社相対評価において過去3年、5年ともに上位にあることから、商品組成時に想定した価値が提供できているものと評価しています。
引き続き運用品質が維持されていることを確認してまいります。

2 商品性(総経費率)

他社 相対評価	上位 (相対的に低い)	当ファンド	中央値
------------	----------------	-------	-----

0.21%

1.09%

評価

G

総経費率の他社相対評価において低い水準(上位)であることから、妥当であると評価しています。

Smart-i 8 資産バランス 安定成長型

世界各国の債券、株式およびリートなどに分散して投資する中で、債券、株式およびリートに対する投資割合の分散をはかり、安定性と成長性のバランスを目指した運用を行います。

投資リスクや費用等、詳細については当社ホームページに掲載しています。以下のURLより交付目論見書等をご覧ください。

<https://www.resona-am.co.jp/fund/123011/>

1 運用品質(運用パフォーマンス)

目標に 対する評価	(目標リターンを 設けておらず、評価対象外)	他社 相対評価	3年	5年
			上位	上位

評価

G

他社相対評価において過去3年、5年ともに上位にあることから、商品組成時に想定した価値が提供できているものと評価しています。
引き続き運用品質が維持されていることを確認してまいります。

2 商品性(総経費率)

他社 相対評価	上位 (相対的に低い)	当ファンド	中央値
		0.24%	0.99%

評価

G

総経費率の他社相対評価において低い水準(上位)であることから、妥当であると評価しています。

Smart-i 8 資産バランス 成長型

世界各国の債券、株式およびリートなどに分散して投資する中で、株式およびリートへの投資割合を高め、資産の成長性を重視した運用を行います。

投資リスクや費用等、詳細については当社ホームページに掲載しています。以下のURLより交付目論見書等をご覧ください。

<https://www.resona-am.co.jp/fund/123012/>

1 運用品質(運用パフォーマンス)

目標に 対する評価	(目標リターンを 設けておらず、評価対象外)	他社 相対評価	3年	5年
			中位	上位

評価

G

他社相対評価において過去3年で中位、5年で上位にあることから、商品組成時に想定した価値が提供できているものと評価しています。
引き続き運用品質が維持されていることを確認してまいります。

2 商品性(総経費率)

他社 相対評価	上位 (相対的に低い)	当ファンド	中央値
		0.26%	1.02%

評価

G

総経費率の他社相対評価において低い水準(上位)であることから、妥当であると評価しています。

りそなターゲット・イヤー・ファンド 2030

世界各国の債券、株式およびリートなどに分散して投資する中で、2030年までの残存年数に応じて各投資対象資産への投資割合を段階的に変更します。残存年数が長いほど資産の成長性や値上がり益の獲得を重視し、短いほど資産の安定性を重視した運用を行います。

投資リスクや費用等、詳細については当社ホームページに掲載しています。以下のURLより交付目論見書等をご覧ください。

<https://www.resona-am.co.jp/fund/120006/>

1 運用品質(運用パフォーマンス)

目標に 対する評価	(目標リターンを 設けておらず、評価対象外)	他社 相対評価	3年 中位	5年 中位
--------------	---------------------------	------------	----------	----------

評価
G

他社相対評価において過去3年、5年ともに中位にあることから、商品組成時に想定した価値が提供できているものと評価しています。
引き続き運用品質が維持されていることを確認してまいります。

2 商品性(総経費率)

他社 相対評価	上位 (相対的に低い)	当ファンド	中央値
------------	----------------	-------	-----

評価
G

総経費率の他社相対評価において低い水準(上位)であることから、妥当であると評価しています。

りそなターゲット・イヤー・ファンド 2035

世界各国の債券、株式およびリートなどに分散して投資する中で、2035年までの残存年数に応じて各投資対象資産への投資割合を段階的に変更します。残存年数が長いほど資産の成長性や値上がり益の獲得を重視し、短いほど資産の安定性を重視した運用を行います。

投資リスクや費用等、詳細については当社ホームページに掲載しています。以下のURLより交付目論見書等をご覧ください。

<https://www.resona-am.co.jp/fund/120010/>

1 運用品質(運用パフォーマンス)

目標に 対する評価	(目標リターンを 設けておらず、評価対象外)	他社 相対評価	3年 中位	5年 中位
--------------	---------------------------	------------	----------	----------

評価
G

他社相対評価において過去3年、5年ともに中位にあることから、商品組成時に想定した価値が提供できているものと評価しています。
引き続き運用品質が維持されていることを確認してまいります。

2 商品性(総経費率)

他社 相対評価	上位 (相対的に低い)	当ファンド	中央値
------------	----------------	-------	-----

評価
G

総経費率の他社相対評価において低い水準(上位)であることから、妥当であると評価しています。

りそなターゲット・イヤー・ファンド 2040

世界各国の債券、株式およびリートなどに分散して投資する中で、2040年までの残存年数に応じて各投資対象資産への投資割合を段階的に変更します。残存年数が長いほど資産の成長性や値上がり益の獲得を重視し、短いほど資産の安定性を重視した運用を行います。

投資リスクや費用等、詳細については当社ホームページに掲載しています。以下のURLより交付目論見書等をご覧ください。

<https://www.resona-am.co.jp/fund/120007/>

1 運用品質(運用パフォーマンス)

目標に 対する評価	(目標リターンを 設けておらず、評価対象外)	他社 相対評価	3年 中位	5年 中位
--------------	---------------------------	------------	----------	----------

評価
G

他社相対評価において過去3年、5年ともに中位にあることから、商品組成時に想定した価値が提供できているものと評価しています。
引き続き運用品質が維持されていることを確認してまいります。

2 商品性(総経費率)

他社 相対評価	上位 (相対的に低い)	当ファンド	中央値
		0.37%	0.69%

評価
G

総経費率の他社相対評価において低い水準(上位)であることから、妥当であると評価しています。

りそなターゲット・イヤー・ファンド 2045

世界各国の債券、株式およびリートなどに分散して投資する中で、2045年までの残存年数に応じて各投資対象資産への投資割合を段階的に変更します。残存年数が長いほど資産の成長性や値上がり益の獲得を重視し、短いほど資産の安定性を重視した運用を行います。

投資リスクや費用等、詳細については当社ホームページに掲載しています。以下のURLより交付目論見書等をご覧ください。

<https://www.resona-am.co.jp/fund/120011/>

1 運用品質(運用パフォーマンス)

目標に 対する評価	(目標リターンを 設けておらず、評価対象外)	他社 相対評価	3年 中位	5年 中位
--------------	---------------------------	------------	----------	----------

評価
G

他社相対評価において過去3年、5年ともに中位にあることから、商品組成時に想定した価値が提供できているものと評価しています。
引き続き運用品質が維持されていることを確認してまいります。

2 商品性(総経費率)

他社 相対評価	上位 (相対的に低い)	当ファンド	中央値
		0.43%	0.52%

評価
G

総経費率の他社相対評価において低い水準(上位)であることから、妥当であると評価しています。

りそなターゲット・イヤー・ファンド 2050

世界各国の債券、株式およびリートなどに分散して投資する中で、2050年までの残存年数に応じて各投資対象資産への投資割合を段階的に変更します。残存年数が長いほど資産の成長性や値上がり益の獲得を重視し、短いほど資産の安定性を重視した運用を行います。

投資リスクや費用等、詳細については当社ホームページに掲載しています。以下のURLより交付目論見書等をご覧ください。

<https://www.resona-am.co.jp/fund/120008/>

1 運用品質(運用パフォーマンス)

目標に 対する評価	(目標リターンを 設けておらず、評価対象外)	他社 相対評価	3年 中位	5年 中位
--------------	---------------------------	------------	----------	----------



他社相対評価において過去3年、5年ともに中位にあることから、商品組成時に想定した価値が提供できているものと評価しています。引き続き運用品質が維持されていることを確認してまいります。

2 商品性(総経費率)

他社 相対評価	上位 (相対的に低い)	当ファンド	中央値
		0.43%	0.52%



総経費率の他社相対評価において低い水準(上位)であることから、妥当であると評価しています。

りそなターゲット・イヤー・ファンド 2055

世界各国の債券、株式およびリートなどに分散して投資する中で、2055年までの残存年数に応じて各投資対象資産への投資割合を段階的に変更します。残存年数が長いほど資産の成長性や値上がり益の獲得を重視し、短いほど資産の安定性を重視した運用を行います。

投資リスクや費用等、詳細については当社ホームページに掲載しています。以下のURLより交付目論見書等をご覧ください。

<https://www.resona-am.co.jp/fund/120012/>

1 運用品質(運用パフォーマンス)

目標に 対する評価	(目標リターンを 設けておらず、評価対象外)	他社 相対評価	3年 中位	5年 中位
--------------	---------------------------	------------	----------	----------



他社相対評価において過去3年、5年ともに中位にあることから、商品組成時に想定した価値が提供できているものと評価しています。引き続き運用品質が維持されていることを確認してまいります。

2 商品性(総経費率)

他社 相対評価	上位 (相対的に低い)	当ファンド	中央値
		0.47%	0.54%



総経費率の他社相対評価において低い水準(上位)であることから、妥当であると評価しています。

りそなターゲット・イヤー・ファンド 2060

世界各国の債券、株式およびリートなどに分散して投資する中で、2060年までの残存年数に応じて各投資対象資産への投資割合を段階的に変更します。残存年数が長いほど資産の成長性や値上がり益の獲得を重視し、短いほど資産の安定性を重視した運用を行います。

投資リスクや費用等、詳細については当社ホームページに掲載しています。以下のURLより交付目論見書等をご覧ください。

<https://www.resona-am.co.jp/fund/120013/>

1 運用品質(運用パフォーマンス)

目標に 対する評価	(目標リターンを 設けておらず、評価対象外)	他社 相対評価	3年 中位	5年 中位
--------------	---------------------------	------------	----------	----------

評価

G

他社相対評価において過去3年、5年ともに中位にあることから、商品組成時に想定した価値が提供できているものと評価しています。
引き続き運用品質が維持されていることを確認してまいります。

2 商品性(総経費率)

他社 相対評価	上位 (相対的に低い)	当ファンド	中央値
		0.47%	0.54%

評価

G

総経費率の他社相対評価において低い水準(上位)であることから、妥当であると評価しています。

つみたてバランスファンド

世界各国の債券、株式およびリートに分散して投資を行い、投資対象とする指数をあらかじめ定めた基本的資産配分で組み合わせた合成ベンチマークに連動する投資成果を目指します。

投資リスクや費用等、詳細については当社ホームページに掲載しています。以下のURLより交付目論見書等をご覧ください。

<https://www.resona-am.co.jp/fund/120005/>

1 運用品質(運用パフォーマンス)

目標に 対する評価	(目標リターンを 設けておらず、評価対象外)	他社 相対評価	3年 上位	5年 上位
--------------	---------------------------	------------	----------	----------

評価

G

合成ベンチマークに連動した運用を行い、他社相対評価において過去3年、5年ともに上位にあることから、商品組成時に想定した価値が提供できているものと評価しています。
引き続き運用品質が維持されていることを確認してまいります。

2 商品性(総経費率)

他社 相対評価	上位 (相対的に低い)	当ファンド	中央値
		0.24%	1.09%

評価

G

総経費率の他社相対評価において低い水準(上位)であることから、妥当であると評価しています。

インデックス運用

評価結果概要

- 運用期間5年超のインデックス運用の公募投資信託について評価を行いました。対象は11ファンドです。なお、運用パフォーマンスについては、他社類似ファンドとの実績トラッキングエラーの相対比較に基づき、ベンチマークに対する運動性の高さを評価しました。
- 運用品質、商品性のいずれにおいても改善や見直しを要する点は認められず、想定した価値が提供できているものと評価しています。

※ 実績トラッキングエラーの水準自体の妥当性を評価することは難しいため、他社相対評価のみ実施しています。

※ 他社類似ファンドの実績トラッキングエラーのデータが取得できない一部ファンドについてはシャープレシオの相対比較を行っています。

ファンド名	運用品質	商品性
Smart-i 国内債券インデックス	G	G
Smart-i 先進国債券インデックス (為替ヘッジなし)	G	G
Smart-i 先進国債券インデックス (為替ヘッジあり)	G	G
Smart-i TOPIX インデックス	G	G
Smart-i 日経 225 インデックス	G	G
Smart-i 国内株式 ESG インデックス	G	G
Smart-i 先進国株式インデックス	G	G
Smart-i 先進国株式 ESG インデックス	G	G
Smart-i 新興国株式インデックス	G	G
Smart-i Jリートインデックス	G	G
Smart-i 先進国リートインデックス	G	G

Smart-i 国内債券インデックス

国内の債券を主要投資対象とし、ベンチマークであるNOMURA-BPI総合の動きに連動する投資成果を目指します。

投資リスクや費用等、詳細については当社ホームページに掲載しています。以下のURLより交付目論見書等をご覧ください。

<https://www.resona-am.co.jp/fund/123001/>

1 運用品質 (ベンチマークに対する運動性)

他社 相対評価	3年	5年
	上位	上位

評価
G

他社相対評価において過去3年、5年ともに上位にあることから、商品組成時に想定した価値が提供できているものと評価しています。引き続き運用品質が維持されていることを確認してまいります。

2 商品性 (総経費率)

当ファンド	中央値
0.15%	0.16%

評価
G

総経費率は類似ファンドの中央値から大きく乖離しておらず、妥当な水準であると評価しています。

Smart-i 先進国債券インデックス (為替ヘッジなし)

日本を除く先進国の債券を主要投資対象とし、ベンチマークであるFTSE世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)の動きに連動する投資成果を目指します。

投資リスクや費用等、詳細については当社ホームページに掲載しています。以下のURLより交付目論見書等をご覧ください。

<https://www.resona-am.co.jp/fund/123004/>

Smart-i 先進国債券インデックス (為替ヘッジあり)

為替を対円でヘッジした日本を除く先進国の債券を主要投資対象とし、ベンチマークであるFTSE世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)の動きに連動する投資成果を目指します。

投資リスクや費用等、詳細については当社ホームページに掲載しています。以下のURLより交付目論見書等をご覧ください。

<https://www.resona-am.co.jp/fund/123005/>

1 運用品質(ベンチマークに対する連動性)

他社 相対評価	3年	5年
	中位	上位

評価

G

他社相対評価において過去3年で中位、5年で上位にあることから、商品組成時に想定した価値が提供できているものと評価しています。引き続き運用品質が維持されていることを確認してまいります。

2 商品性(総経費率)

当ファンド	中央値
0.22%	0.30%

評価

G

総経費率は類似ファンドの中央値から大きく乖離しておらず、妥当な水準であると評価しています。

1 運用品質(ベンチマークに対する連動性)

他社 相対評価	3年	5年
	上位	下位

評価

G

他社相対評価において過去5年では下位にあるものの、過去3年では上位にあり顕著な改善が見られることから、総合的に見て商品組成時に想定した価値が提供できているものと評価しています。引き続き運用品質が維持されていることを確認してまいります。

2 商品性(総経費率)

当ファンド	中央値
0.21%	0.28%

評価

G

総経費率は類似ファンドの中央値から大きく乖離しておらず、妥当な水準であると評価しています。

Smart-i TOPIX インデックス

国内の株式を主要投資対象とし、ベンチマークである東証株価指数 (TOPIX、配当込み) の動きに連動する投資成果を目指します。

投資リスクや費用等、詳細については当社ホームページに掲載しています。以下の URL より交付目論見書等をご覧ください。

<https://www.resona-am.co.jp/fund/123002/>

Smart-i 日経 225 インデックス

国内の株式を主要投資対象とし、ベンチマークである日経平均株価 (日経 225、配当込み) の動きに連動する投資成果を目指します。

投資リスクや費用等、詳細については当社ホームページに掲載しています。以下の URL より交付目論見書等をご覧ください。

<https://www.resona-am.co.jp/fund/123003/>

1 運用品質 (ベンチマークに対する連動性)

他社 相対評価	3年	5年
	下位	中位



他社相対評価において過去 3 年では下位にあるものの過去 5 年では中位にあり、長期的には商品組成時に想定した価値が提供できているものと評価しています。

引き続き運用品質が維持されていることを確認してまいります。

2 商品性 (総経費率)

当ファンド	中央値
0.17%	0.23%



総経費率は類似ファンドの中央値から大きく乖離しておらず、妥当な水準であると評価しています。

1 運用品質 (ベンチマークに対する連動性)

他社 相対評価	3年	5年
	上位	中位



他社相対評価において過去 3 年で上位、5 年で中位にあることから、商品組成時に想定した価値が提供できているものと評価しています。

引き続き運用品質が維持されていることを確認してまいります。

2 商品性 (総経費率)

当ファンド	中央値
0.19%	0.43%



総経費率が類似ファンドの中央値より大幅に低い水準となっていますが、長期継続的に良質な運用の提供に十分な信託報酬率の水準を保っていることから、総経費率についても妥当な水準であると評価しています。

Smart-i 国内株式ESGインデックス

国内の株式を主要な投資対象とし、ベンチマークであるMSCI ジャパン ESG セレクト・リーダーズ指数(配当込み)の動きに連動する投資成果を目指します。

投資リスクや費用等、詳細については当社ホームページに掲載しています。以下のURLより交付目論見書等をご覧ください。

<https://www.resona-am.co.jp/fund/123013/>

1 運用品質(ベンチマークに対する連動性)

他社 相対評価	3年	5年
	上位	上位

評価
G

他社相対評価において過去3年、5年ともに上位にあることから、商品組成時に想定した価値が提供できているものと評価しています。引き続き運用品質が維持されていることを確認してまいります。

2 商品性(総経費率)

当ファンド	中央値
0.25%	0.45%

評価
G

総経費率は類似ファンドの中央値から大きく乖離しておらず、妥当な水準であると評価しています。

Smart-i 先進国株式インデックス

日本を除く先進国の株式を主要投資対象とし、ベンチマークであるMSCI-KOKUSAI 指数(配当込み、円換算ベース)の動きに連動する投資成果を目指します。

投資リスクや費用等、詳細については当社ホームページに掲載しています。以下のURLより交付目論見書等をご覧ください。

<https://www.resona-am.co.jp/fund/123006/>

1 運用品質(ベンチマークに対する連動性)

他社 相対評価	3年	5年
	下位	下位

評価
G

他社比較による相対順位では過去3年、5年ともに下位にあるものの、実績トラッキングエラーの水準はカテゴリ内の平均値とほぼ同水準であることから、総合的に見て商品組成時に想定した価値が提供できているものと評価しています。引き続き運用品質が維持されていることを確認してまいります。

	ファンド	平均値
3年	0.31%	0.30%
5年	0.42%	0.35%

2 商品性(総経費率)

当ファンド	中央値
0.25%	0.31%

評価
G

総経費率は類似ファンドの中央値から大きく乖離しておらず、妥当な水準であると評価しています。

Smart-i 先進国株式ESGインデックス

日本を除く先進国の株式を主要投資対象とし、ベンチマークであるMSCI-KOKUSAI ESG リーダーズ指数(配当込み、円換算ベース)の動きに連動する投資成果を目指します。

投資リスクや費用等、詳細については当社ホームページに掲載しています。以下のURLより交付目論見書等をご覧ください。

<https://www.resona-am.co.jp/fund/123014/>

1 運用品質(ベンチマークに対する連動性)

他社 相対評価	3年	5年
	下位	中位

評価

G

他社相対評価において過去3年では下位にあるものの過去5年では中位にあり、長期的には商品組成時に想定した価値が提供できているものと評価しています。

引き続き運用品質が維持されていることを確認してまいります。

2 商品性(総経費率)

当ファンド	中央値
0.39%	0.44%

評価

G

総経費率は類似ファンドの中央値から大きく乖離しておらず、妥当な水準であると評価しています。

Smart-i 新興国株式インデックス

新興国の株式を主要投資対象とし、ベンチマークであるMSCIエマージング・マーケット指数(配当込み、円換算ベース)の動きに連動する投資成果を目指します。

投資リスクや費用等、詳細については当社ホームページに掲載しています。以下のURLより交付目論見書等をご覧ください。

<https://www.resona-am.co.jp/fund/123007/>

1 運用品質(ベンチマークに対する連動性)

他社 相対評価	3年	5年
	下位	下位

評価

G

他社比較による相対順位では過去3年、5年ともに下位にあるものの、実績トラッキングエラーの水準はカテゴリ内の平均値とほぼ同水準であることから、総合的に見て商品組成時に想定した価値が提供できているものと評価しています。引き続き運用品質が維持されていることを確認してまいります。

●実績トラッキングエラーの比較

	ファンド	平均値
3年	0.78%	0.83%
5年	0.96%	0.91%

2 商品性(総経費率)

当ファンド	中央値
0.60%	0.47%

評価

G

総経費率は類似ファンドの中央値から大きく乖離しておらず、妥当な水準であると評価しています。

Smart-i Jリートインデックス

国内の不動産投資信託証券を主要投資対象とし、ベンチマークである東証REIT指数(配当込み)の動きに連動する投資成果を目指します。

投資リスクや費用等、詳細については当社ホームページに掲載しています。以下のURLより交付目論見書等をご覧ください。

<https://www.resona-am.co.jp/fund/123008/>

Smart-i 先進国リートインデックス

日本を除く先進国の不動産投資信託証券を主要投資対象とし、ベンチマークであるS&P先進国REIT指数(除く日本、配当込み、円換算ベース)の動きに連動する投資成果を目指します。

投資リスクや費用等、詳細については当社ホームページに掲載しています。以下のURLより交付目論見書等をご覧ください。

<https://www.resona-am.co.jp/fund/123009/>

1 運用品質(ベンチマークに対する連動性)

他社 相対評価	3年	5年
	中位	中位

評価

G

他社相対評価において過去3年、5年ともに中位にあることから、商品組成時に想定した価値が提供できているものと評価しています。
引き続き運用品質が維持されていることを確認してまいります。

2 商品性(総経費率)

当ファンド	中央値
0.19%	0.41%

評価

G

総経費率が類似ファンドの中央値より大幅に低い水準となっていますが、長期継続的に良質な運用の提供に十分な信託報酬率の水準を保っていることから、総経費率についても妥当な水準であると評価しています。

1 運用品質(ベンチマークに対する連動性)

他社 相対評価	3年	5年
	上位	上位

評価

G

他社相対評価において過去3年、5年ともに上位にあることから、商品組成時に想定した価値が提供できているものと評価しています。
引き続き運用品質が維持されていることを確認してまいります。

2 商品性(総経費率)

当ファンド	中央値
0.27%	0.42%

評価

G

総経費率は類似ファンドの中央値から大きく乖離しておらず、妥当な水準であると評価しています。

NOMURA-BPI総合

「NOMURA-BPI総合」は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する、日本の公募債券流通市場全体の動向を表す投資収益指数で一定の組入基準に基づいて構成された債券ポートフォリオのパフォーマンスをもとに計算されます。NOMURA-BPI総合の知的財産権とその他の一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、NOMURA-BPI総合指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

FTSE世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)

「FTSE世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)」は、FTSE世界国債インデックス(除く日本、米ドルベース)をもとに委託会社が円換算して計算したものです。FTSE世界国債インデックス(除く日本、米ドルベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)

「FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

東証株価指数(TOPIX、配当込み)

「東証株価指数(TOPIX、配当込み)」は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利は株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。

日経平均株価(日経 225、配当込み)

「日経平均トータルリターン・インデックス」(「日経平均株価(日経 225)」(配当込み))に関する著作権、知的所有権その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。日本経済新聞社は日経平均トータルリターン・インデックスを継続的に公表する義務を負うものではなく、その誤謬、遅延又は中断に関して責任を負いません。本商品について、日本経済新聞社は一切の責任を負うものではありません。

Russell/Nomura Small Capインデックス

「Russell/Nomura Small Capインデックス」は、Frank Russell Companyと野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が共同開発した日本株式投資スタイルベンチマークの一つで、浮動株調整時価総額が相対的に小さい銘柄の動向を表す投資収益指数です。その知的財産権は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社及びFrank Russell Companyに帰属します。野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社とFrank Russell Companyは、本件インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

MSCI ジャパン ESG セレクト・リーダーズ指数(配当込み)

「MSCI ジャパン ESG セレクト・リーダーズ指数(配当込み)」は、MSCI Inc.が開発した、国内株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものであり、指数に関する著作権、知的財産権その他の権利はMSCI Inc.に帰属します。

MSCI-KOKUSAI指数(配当込み、円換算ベース)

「MSCI-KOKUSAI指数(配当込み、円換算ベース)」は、MSCI-KOKUSAI指数(米ドルベース)をもとに委託会社が円換算して計算したものです。MSCI-KOKUSAI指数(米ドルベース)は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものであり、指数に関する著作権、知的財産権その他の権利はMSCI Inc.に帰属します。

MSCI-KOKUSAI ESG リーダーズ指数(配当込み、円換算ベース)

「MSCI-KOKUSAI ESG リーダーズ指数(配当込み、円換算ベース)」は、MSCI Inc.が開発したMSCI-KOKUSAI ESG リーダーズ指数(米ドルベース)をもとに委託会社が円換算して計算したものです。MSCI-KOKUSAI ESG リーダーズ指数(米ドルベース)は、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものであり、指数に関する著作権、知的財産権その他の権利はMSCI Inc.に帰属します。

MSCIエマージング・マーケット指数(配当込み、円換算ベース)

「MSCIエマージング・マーケット指数(配当込み、円換算ベース)」は、MSCIエマージング・マーケット指数(米ドルベース)をもとに委託会社が円換算して計算したものです。MSCIエマージング・マーケット指数(米ドルベース)は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものであり、指数に関する著作権、知的財産権その他の権利はMSCI Inc.に帰属します。

東証 REIT 指数(配当込み)

「東証 REIT 指数(配当込み)」は、東京証券取引所に上場している不動産投資信託(REIT)全銘柄を対象として算出した東証 REIT 指数に、分配金支払いによる権利落ちの修正を加えた指数です。なお、指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利は株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。

S&P先進国 REIT 指数(除く日本、配当込み、円換算ベース)

「S&P先進国 REIT 指数(除く日本、配当込み、円換算ベース)」は、S&P先進国 REIT 指数(除く日本、配当込み)をもとに委託会社が円換算して計算したものです。S&P先進国 REIT 指数(除く日本、配当込み)は、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックス LLCが有するS&Pグローバル株価指数の採用銘柄の中から、不動産投資信託(REIT)および同様の制度に基づく銘柄の浮動株修正時価総額に基づいて算出される指数であり、指数に関する著作権、知的財産権その他の権利はS&Pダウ・ジョーンズ・インデックス LLCに帰属します。

- 当レポートは、りそなアセットマネジメント株式会社がプロダクトガバナンスの一環で実施した自社ファンドの評価結果をお知らせするために作成したものです。
- 当レポートは、投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。
- 投資信託のご購入にあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書(交付目論見書)および目論見書補完書面の内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。
- なお、以下の点にもご留意ください。
 - ✓ 当レポート中の運用実績等に関する記載等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。
 - ✓ 当レポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、市況の変動等により、方針通りの運用ができない場合があります。
 - ✓ 当レポートは信頼できると判断した情報等をもとに作成しておりますが、その正確性、完全性等を保証するものではありません。
 - ✓ 当レポートに指数・統計資料等が記載される場合、それらの知的財産権、その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。

ファンドの設定・運用は

商号等:りそなアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2858号
加入協会:一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

お問い合わせ先

0120-223351

受付時間: 営業日の午前9時~午後5時
(土日祝祭日、年末年始を除く)